

## 【北島町汚水処理構想について】

### 1. 汚水処理構想とは

汚水処理構想とは、下水道、集落排水、合併浄化槽等の汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案し、社会情勢の変化や地域の実情に応じて効率的かつ適正な整備を実施していくことや、今後も増大する施設ストックの長期的かつ効率的な運営管理を行っていくことを目的とし、徳島県の示す構想策定の基本方針に基づき策定する総合的な計画です。

下水道、集落排水、合併浄化槽等の汚水処理施設は、公共用水域の水質保全を主な目的として早期の普及が求められており、上水道や電気等と同様に、生活基盤として欠かせないライフラインです。また、環境意識が高まる中で、健全な水循環や良好な水環境の形成、安全・快適なまちづくりを行う上で不可欠な施設としての役割をもっています。町全域で効率的な汚水処理施設の整備を推進するためには、効率的かつ適正な整備手法・整備区域を選定する汚水処理構想の策定が必要不可欠です。以上を踏まえて、北島町においても汚水処理構想の再検討を行い、下水道計画区域を見直しました。

汚水処理施設の整備手法・整備区域は、経済性での選定を基本としつつ、整備時期、地域特性、住民の意向等を総合的に考慮し、設定しています。都市部など人口密度が大きい地域では集合処理が経済的となり、山村など人口密度が小さい地域では個別処理が経済的となります。

### 2. 下水道計画区域の設定

徳島県におきましては、令和17年度までの汚水処理施設の整備完了を目標としています。北島町も県の指標に従って公共下水道を整備していくものとし、令和17年度までに整備可能な区域を下水道計画区域とするため絞り込みを行いました。下水道計画区域の再設定については、まず、事業計画区域(105.0ha)以外の処理区域を検討対象区域とし、集合処理の効率性、人口密度、既整備区域との近接性を考慮し最適処理区域を選定しました。

集合処理の効率性は、個別処理費用に対する集合処理費用を算出し、人口密度は定住人口を用いて算出することで区域を絞り込み、下水道計画区域は、表1・図1に示すとおりとしました。

表1 下水道計画区域

	旧汚水処理構想	新汚水処理構想	新旧の差
区域面積(ha)	626.7	255.5	△371.2
人口(人)	23,300	12,400	△10,900

(図1) 下水道計画区域

